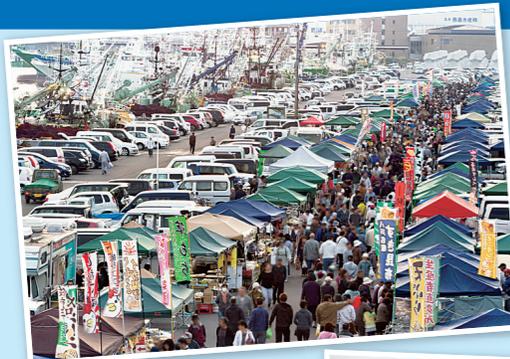


青森

 最大震度 5強	 全壊 308棟	 死者 3人
 浸水面積 24km ²	 半壊 701棟	 行方不明者 1人
 最大浸水高 11.18m(八戸市)	 一部損壊 1,005棟	 負傷者 110人

一歩ずつ前へ

復興のあゆみ



活気あふれる館鼻岸壁朝市(八戸市)



第一魚市場での水揚げの様子(八戸市)



八太郎1号埠頭付近の被害の様子(H23.3.12撮影・八戸市)



復旧後の八太郎1号埠頭付近(八戸市)

- 3月14日 … 弘南鉄道、全線運転再開
- 3月15日 … JR津軽線、全線運転再開
- 3月16日 … 八戸市の魚市場一部再開
- 3月17日 … 被災者への県営住宅提供の受付開始
JR大湊線、全線運転再開
青い森鉄道、全線運転再開
- 3月19日 … JR五能線、全線運転再開
- 3月20日 … 東北電力八戸火力発電所、運転再開
- 3月26日 … 青森県が県外からの一時避難者の受入を開始
- 4月6日 … 青森県内の停電がすべて解消
- 4月23日 … 青森デスティネーションキャンペーン「がんばろう日本!がんばろう東北!」が開幕(7/22まで)
- 4月30日 … すべての公共施設の避難所を閉鎖
- 5月7日 … 三沢魚市場が再開
- 6月1日 … 青森県が県外からの避難者へ民間賃貸住宅の無償提供を開始
- 7月3日 … 館鼻岸壁の日曜朝市が再開。入出は約6万人
- 7月19日 … 八戸市魚市場が全面再開

未来へつなぐメッセージ

東日本大震災を経験した被災者が語った体験談。
震災当時をどんな気持ちで過ごしていたのか想像しながら読んでみましょう。

※「東日本大震災 平成23年3月11日—その記録と記憶—」平成25年3月、青森県より抜粋

平成23年3月11日午後2時46分、突然大きい地震があり、事務所内の棚から物が落下し、恐怖であった。暫くすると電気が消え又、電話が不通になり仕事が出来なくなったので従業員全員が帰宅することになった。

帰宅途中信号機が不能になり車の渋滞が続いている現実を目の当たりに見て、恐怖を感じながら帰宅した。

この日は、三八城公民館で交通安全協会沼館城下支部の定時総会を実施することになっていたが大地震のため中止となった。公民館は避難場所に指定されていたので、総会のために準備していたすいとんを婦人部のみんで作って、避難された大勢の皆さんに食べてもらった。

又、ストーブが使用出来なかったため、寒さをしのぐため、お湯を沸かしペットボトルに入れて数か所に置いて暖をとってもらったようにした。

今回、1,000年に一度有るか無いかの未曾有の大災害に見舞われたことは、後世に絶対あってはならないことを祈りたい。

八戸地区交通安全協会沼館・城下支部
婦人部長 三浦 トミエ(八戸市)

私は商工会女性部長の西村です。今回の東日本大震災では店と自宅が津波の被害を受けました。まさか自分の身に100年に1回の災害が降りかかるなんて思いもしませんでした。当日は加工施設で仕事をしていましたが、地震があって、停電になって、いつもとは少し違った感じだったので、とりあえずは高い方の親戚の家に避難しました。自分は線路の方で真っ黒な波が、下の道路に来て浜小屋が映画のセットのように流れていったのが今でも目に焼きついてます。二日後のテレビを見るまでは自分が最大の被災者と思っていましたが、福島、宮城、岩手の方々には比べたらと思うと涙が出てきた事を思い出します。

被災直後は、これから先の事を考えると、不安でしたが、お客さんが待っている事を思うとやり直ししようと思い、いち早く行動を起こしました。お陰様で人には被害が無かったことが幸いでした。

今回の被災ではじめて全国の皆様方からたくさんの義援金・支援金などをいただき本当に感謝の気持ちでいっぱいでございます。これからは自分で出来る限りの事は、自ら進んでやるように、地域の役に立てるように頑張ります。

最後に、これから先も大災害がおこるかもしれませんが、まず第一に自分の命を守り、地域とともに生活を守っていきたくと思います。

階上町商工会
女性部長 西村 トシ子(階上町)

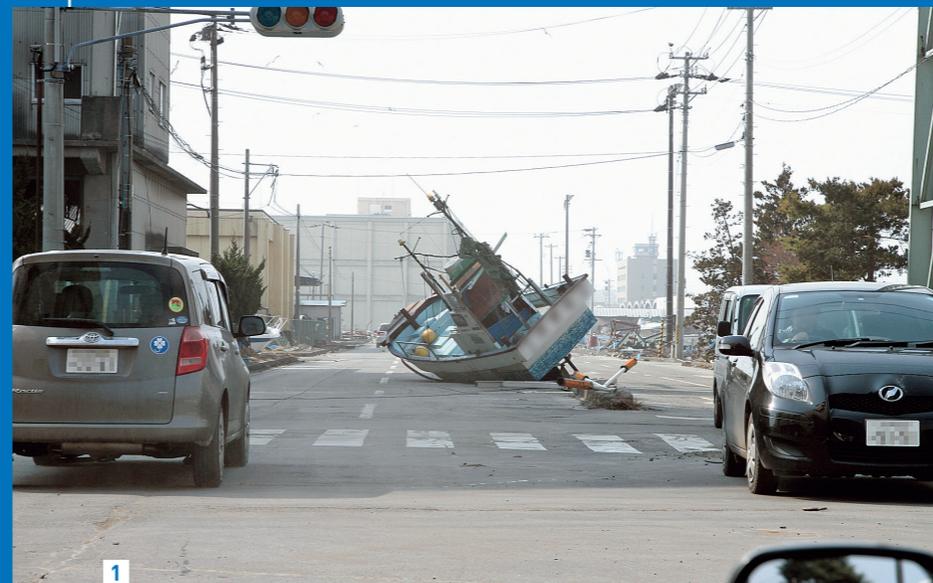
※参考・引用資料
●東日本大震災 平成23年3月11日—その記録と記憶—平成25年3月、青森県
●「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による各地の震度、平成24年12月、気象庁
●津波による浸水範囲の面積(概略値)について(第5報)、平成23年4月18日、国土地理院
●津波痕跡データベース、東北大学災害科学国際研究所 東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループによる現地調査結果
●平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第162報 別紙)、令和4年3月8日(火)14時00分、消防庁災害対策本部

第1波の津波が八戸市に到達したのは15時22分、最大の津波は16時57分に到達しました。観測機器が津波で流出・故障したため正確なデータが得られず、それ以降でさらに大きな津波が押し寄せたとも言われています。国土交通省などの調査では、陸奥湾や日本海沿岸地域でも津波が観測されました。

青森県における死者・行方不明者の人的被害は、八戸市と三沢市の漁

港付近に集中しています。全壊と半壊を合わせた住家被害は八戸市で9割近くに達し、残り約1割が三沢市、おいらせ町、階上町で、人的被害も住家被害もほとんどが津波によるものでした。

被害が大きかった八戸市は2011年に10年間の「八戸市復興計画」を策定。早期復旧に努め、現在もさらなる創造的復興に向けた取組みが進められています。



1



2



3



4



5



6

1 八戸市街では漁船が道路に乗り上げた 2 八戸市の白浜海水浴場はがれきの山に 3 三沢漁港内の道路には漁具などが散乱した 4 おいらせ町内の県道19号は津波被害で通行止めになった 5 おいらせ町川口地区の住宅地も被害を受けた 6 階上町大蛇地区に押し寄せる津波。幸い人的被害はなかった

※写真提供/青森県

あの日何が起きたのか……